

# 平成12年度の 決算状況

5月末で出納整理期間（※）が終了し、平成12年度の決算がまとまりました。今後、この決算内容は、監査委員や市議会の決算審査特別委員会でさまざまな角度から審査されます。今号では、平成12年度の市の決算状況を、できるだけわかりやすくお知らせします。みなさんも決算の数字から市の財政状況を考えてみませんか。

※出納整理期間…会計年度が終了する3月以降、現金の未収や未払いを整理する期間。

表1 平成12年度決算の状況

会計区分	歳入	歳出	差引額	
一般会計	224億6,128万円	217億4,380万円	7億1,748万円	
特別会計	国民健康保険	48億4,301万円	44億8,977万円	3億5,324万円
	学校給食事業	3億6,837万円	3億6,837万円	0円
	公共下水道事業	36億4,758万円	36億4,624万円	134万円
	老人保健	60億9,431万円	60億3,692万円	5,739万円
	簡易水道事業	2,794万円	2,794万円	0円
	介護保険	18億4,519万円	17億9,311万円	5,208万円

平成12年度の市の決算はどうだったのでしょうか。  
表1をご覧ください。一般会計をはじめ各会計別に入ったお金（歳入）と使ったお金（歳出）、そしてその差引

チェック  
1 12年度の収支は？

表2 収支の状況（一般会計）

区分	平成11年度	平成12年度
歳入歳出差引額 （形式収支）	5億1,569万円	7億1,748万円
翌年度へ繰り越すべき財源	2,155万円	4,463万円
実質収支額	4億9,414万円	6億7,285万円
単年度収支額	6,182万円	1億7,871万円

額が載っています。  
差引額は、学校給食事業特別会計と簡易水道事業特別会計は0円ですが、一般会計を含む他の会計は黒字決算となっていて、差引額が次の年度（平成13年度）に繰り越されることとなります。これを形式収支といえます。  
この形式収支のほかにも、いろいろなチェック方法があります。表2を見ると、一般会計では、7億1千748万円の黒字となつていますが、この中には12年度から13年度へ繰り越した事業の財源として4千463万円が含まれているため、これを除いた黒字額は6億7千285万円となります。これを実質収支といえます。  
12年度の実質収支と11年度の実質収支（4億9千414万円）の差額が単年度収支と呼ばれ、12年度は1億7千871万円